

古河 駐屯地観桜会



来賓祝辞  
(永岡衆議院議員)



駐屯地司令挨拶  
(平栗陸将補)



主催者挨拶  
(青木後援会会長)



隊員による音楽演奏  
(第337高射中隊 石原2曹)



歌謡ショー  
(河奈さちこ氏)



日本舞踊  
(若柳紅輔氏)



新着任部隊長等の紹介

四月七日、駐屯地は古河駐屯地後援会主催による「駐屯地観桜会」を支援した。本会は、国会議員をはじめ、古河市長及び茨城県議会議員、古河市議会議員、隊友会古河・下館支部長等の招待者百三十五名と隊員等五十二名、総勢百八十七名の参加者により体育館において盛大に行われた。

主催者である古河駐屯地後援会会長、青木正夫様の挨拶、駐屯地司令挨拶、後援会顧問(衆議院議員)永岡桂子様からの来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、古河自衛隊協力会会長(古河市長)針谷力様による乾杯を皮切りに、歓談が行われ、なごやかな雰囲気の中、新着任部隊長等の紹介、後援会会員による日本舞踊(若柳流師範 若柳紅輔氏)・隊員によるサックス演奏(第三三七高射中隊 石原二曹)・歌手による歌謡ショー(河奈さちこ氏)など、大いに盛り上がった。参加者間の親睦を深めることができ、観桜会は盛会のうちに終了した。

古河駐屯地コンサート



東部方面音楽隊



オニツカサリー氏ライブ

三月二十一日、古河駐屯地コンサートを開催し、隊員家族や近隣の中学生、協力関係者等を招待し、駐屯地及び自衛隊に対する理解と親近感を醸成を図るとともに、隊員の慰労の場を提供した。

コンサートは、東部方面音楽隊及び特別ゲストの茨城県地方協力本部広報大使、オニツカサリー氏、THE TIESを招き盛大に行われた。

特別ゲスト二組は、美しい歌やダンスを披露し、隊員達を魅了した。音楽隊の演奏が始まると、普段勤務などで聞くことが出来ない隊員達も、濃厚な演奏に聞き入っていた。

東部方面総監初度視察



訓示受け



儀じょう

三月二十二日、東部方面総監 住田陸将の初度視察を受察した。来隊された総監に対し、儀じょう隊による幹部挨拶、状況報告、隊内巡視と続いた。

その後、総監は訓示において「多様な任務に確実に対応し、完遂し、任務の重要性を十分理解し、団結強固にして規律厳守、士気高らかな部隊として引き続き任務に邁進することを期待する。」(抜粋)と述べた。

古河駐屯地各部隊等は総監要望事項、期待されている事項を具現化すべく、各種任務に邁進していく。

# 駐屯地最先任上級曹長交代式



上番最先任上級曹長 海老沢准尉



下番する大越准尉

三月十六日、第一施設団兼古河駐屯地最先任上級曹長交代式が行われ、下番最先任上級曹長大越准尉の功績を称えるとともに、隊員の制度に対する意識の向上を図った。

また、上番最先任上級曹長 海老沢准尉は、「為せば成る」掲げ、「歴代最先任が築き上げてきた伝統を着実に継承していくとともに、昨今の我が国を取り巻く環境や情勢を踏まえ、部隊・個人の更なる精進を期す必要がある」と述べた。

# 部外講話



大久保 純一氏



田山 寛豪氏

二月九日及び三月十二日、部外講師による講演会を実施した。元講師及び演題は、元オリンピック代表 田山寛豪氏「オリンピックという夢の実現に向けてどのような準備、訓練を乗り越えたか」とシニア産業カウンセラー 大久保純一氏「ストレスの気づきと対応」について講演して頂き、貴重な自身の体験談、厳しい練習へのモチベーションの保ち方やストレス緩和法、うつ予防法などを教えて頂き、健全な部隊の育成・隊員の識能及び服務意欲の向上に資することが出来た。

# 転入者の紹介



第1施設団高級幕僚 田村 2佐



古河駐屯地業務隊長 熊倉 1佐



関東補給処古河支処長 大足 1佐



最先任上級曹長 海老沢准尉



第301高射直接支援中隊 第1直接支援小隊長 渡辺 3尉



第101施設器材隊長 鏝塚 2佐

三月二十三日付で転入部隊長等を含め三十六名の隊員が、また、四月一日付で十八名の事務官等が新戦力として古河駐屯地に転入及び配属された。



事務官等 18名



自衛官 36名

# 新配置隊員の紹介



第101施設器材隊 今井 2士



第101施設器材隊 原田 2士



第337高射中隊 杉浦 2士



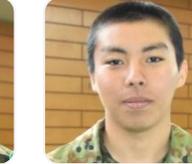
第337高射中隊 金野 2士



第301ダンプ車両中隊 奥山 2士



第301ダンプ車両中隊 金子 2士



第301ダンプ車両中隊 高橋 2士

二月二十日及び二十五日付で新配置隊員七名が部隊に配属された。

# 定年退官者 (予定) の紹介



関東補給処古河支処 中田曹長 7月7日付



古河駐屯地業務隊長 橋木 2佐 7月3日付



関東補給処古河支処 鈴木曹長 6月23日付



第1施設団本部 大越准尉 5月11日付

# 関東補給処古河支処



祝賀会食



記念式典



シャフト曲りの計測

二月十四日から三月二十日までの間、整備工場において整備競技会を実施した。競技者は、日頃の業務で培った整備技術の技を競い合うとともに本競技会を通じて、各人の整備知識及び整備技術の進歩向上を図ることができた。

祝賀会食では、OB記念品贈呈セレモニーや和太鼓演奏等のアトラクションもあり、部内外多数の来賓と支処隊員の親睦・交流を図ることができ、記念行事は成功裡に終了した。

三月三日、古河補給処OB会との共催により、古河支処創立二十周年記念行事を開催した。二十周年の節目にあたり、記念式典及びOB会長・支処長による「これまでの二十年」をテーマとした記念講演を実施した。



重量物積載

二月十九日、保管分類課においてフオークリフト競技会を実施した。競技者は、重量物を運搬しながらコースの障害等を通して、高所の棚に積載する一連の動作を競い合い、運転技術の習得及び安全意識の高揚を図ることができた。

# 古河駐屯地業務隊



着任 第31代業務隊長 1等陸佐 熊倉弘典



離任 第30代業務隊長 1等陸佐 中山順一



祝賀会食

二月二十四日、業務隊OB会である刀水会の参加を得、創隊六十三周年記念行事を実施した。総会の支援に引き続き、業務隊OBの方々の祝賀会食を実施し、盛会のうちに終了した。

三月二十二日付けで第三十代業務隊長中山一佐が離任され、新たに二十三日付けで第三十一代業務隊長に熊倉一佐が着任した。中山一佐は「支援任務の完遂」を統率方針とし、部隊・隊員の為に積極支援に徹して任務に邁進され、駐屯地の発展に貢献された。

第三十一代業務隊長熊倉一佐は先代業務隊長の統率方針を継承、「支援任務の完遂」すべては隊員・部隊のために、を統率方針に一步でも高みをめざし任務完遂に邁進する所存である。



看板改修

4/4半期の間、女性自衛官隊舎浴場設備、看板(隊舎・食堂等)、道路設備(道路標識・白線等)受水槽等の補修及び樹木への薬剤注入等、各種施設整備を実施し勤務・生活環境の不断の改善を図った。

# 第101施設器材隊



隊員家族の声援



隊長訓示



隊長紹介



鏝塚2佐

四月三日、桜が舞う中、「平成三十年度器材隊戦技競技会」開会式が挙行された。鏝塚隊長は「丸となり勝利を追求せよ」「安全管理を徹底せよ」の二点を要望した。競技会初日の持

走では、隊員及び隊員家族が見守る中、各隊員が日頃の練成成果を存分に発揮し、不屈の信念で各中(付)隊隊員がゴールの瞬間まで力走した。

三月二十三日付で、第二十二代第一〇一施設器材隊長として鏝塚二佐が着任した。鏝塚二佐は、着任の辞に統率方針として、「総力の結集」要望事項として、「企図の明示と確実な実行」及び「連携」の二点を示された。

着任式終了後、器材隊の概要及び現況等について状況報告を受けてととも、各施設を巡視し、器材隊の状況を把握した。

# 第301 ダンプ車両中隊



U字溝の設置

一月九日から三月十日までの間、駐屯地業務隊が実施する駐屯地構内工事(第二期)が開始され、福本二曹以下十名が支援した。クロスウェーブ・U字溝の設置などを行い、駐屯地の環境整備に寄与し、工事を通じて、施設基礎動作及び測量等の施設技術の向上を図った。



豊川駐屯地資料館研修

二月二十七日から三月一日までの間、古河駐屯地から豊川駐屯地までの長距離機動訓練を実施した。中央道・東名・新東名の三経路に区分し、各経路における地誌資料収集活動を実施し、南海トラフ地震等の災害派遣活動の資とした。また、資料館を研修し、展示品の説明を受け、精神教育の一助を得た。

# 第102 施設直接支援大隊



整備実習

一月九日から三月十日までの間、古河駐屯地において陸士特技課程「施設機械整備」を実施した。学生達は、ディーゼルエンジン及び施設器材等を中心とする整備実習作業や施設学校研修等を行い整備に関する知識・技術の向上を図った。



疾走する隊員

一月十日から十一日までの間、古河駐屯地において第一〇二施設直接支援大隊持続走競技会を実施した。競技は断走走が行われ、各隊員は日々の練成成果を遺憾なく発揮し、隊員の体力・気力の向上、部隊の団結の強化及び士気の高揚を図った。

# 320 基地通信中隊 古河派遣隊



朝霞より転属となった甲地3曹



記念品を贈呈される熊倉3曹

三月二十二日、第三二〇基地通信中隊古河派遣隊では、定期異動により勝田駐屯地へ異動となる熊谷三曹の見送り行事が行われた。新配置隊員以降、初めての異動となる熊谷三曹は同中隊の勝田派遣隊へ転出となった。また、三月二十三日付、朝霞駐屯地から甲地三曹が古河派遣隊へ転入した。古河駐屯地勤務は初めてということもあり、一日も早く勤務環境になれるよう派遣隊一丸となつて支え、団結の強化を図っていく。

# 第337 高射中隊



訓練検閲

三月二日から七日までの間、第二高射特科群は平成二九年年度方面野外行動訓練検閲を受閲した。第三三七高射中隊においては相馬ヶ原演習場に機動し、任務を完遂することができた。また、第三〇七施設隊と連携し、一t土囊による強靱な陣地を構築し「良好」の成果獲得に寄与した。



定期異動記念写真

三月二十二日の定期異動に伴い、七名の隊員が高射中隊を去ることとなった。中隊の原動力となり、伝統を築いてきた七名の隊員が転属することは中隊にとつて寂しい限りであるが、これらにより一層団結を強化し、強靱な高射中隊を目指し訓練に邁進していく。

# 駐屯地広報班



概要説明



委嘱式

三月七日、平成二十九年度駐屯地モニター終了式及び平成三十年駐屯地モニター委嘱式を実施した。終了者に対しては、引き続き駐屯地に対する意見、要望等をお願いし、委嘱者に対しては、モニターとしての役割を説明するとともに、自衛隊の概要及び古河駐屯地や隊員の活躍等を説明したのち、駐屯地内を案内した。また、副団長等と交え意見を交換して、駐屯地と地域社会との一体化を図るとともに、親近感の醸成を図った。

# 第341 会計隊



任期満了退職者見送り

三月二十九日、任期満了退職者送別が行われ、駐屯地の皆様に可愛がられた杉山士長が、中隊の隊員に見送られ退職した。援護センターのご支援により就職も決まり、今後は警備員及び予備自衛官として頑張っていく。



転入者3名

三月二十三日付で三名の隊員が第三四一会計隊に着隊した。新たに先任上級曹長に澤山一曹(右)業務班に佐藤一曹(中)佐々木二曹(左)が加わった。隊長を核として今後一層の団結の強化に努めていく。